

～ ヴィクトリア・ルキアネッツ 12年ぶりの日本公演、本邦初披露 ～

ルキアネッツの 「冬の旅」

Victoria Loukianetz sings "Winterreise"

ソプラノ：ヴィクトリア・ルキアネッツ



ピアノ：比留間千里

2026年4月2日(木)

19:00 開演 (18:15開場)

すみだトリフォニーホール小ホール

全席指定 8,000円/29歳以下 4,000円

*未就学児入場不可。29歳以下の方は身分証明書をご提示ください。

【チケット取扱い】

◆チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 313154)

◆ASK歌劇団 fledermaus1102@gmail.com



主催 ASK歌劇団 (お問合せ fledermaus1102@gmail.com / 090-7186-4361)

後援 在日ウクライナ大使館



Embassy of Ukraine
in Japan

ヴィクトリア・ルキアネッツ（ソプラノ）

ウクライナ出身。1990年、東京で開催された民音国際歌唱コンクールとウィーンの国際モーツァルトコンクールとともに第2位を受賞。翌年、アテネのマリア・カラス国際コンクールで第1位を受賞。1995年、ザルツブルク音楽祭でリッカルド・ムーティ指揮「椿姫」に主演し、ムーティ本人から「理想のヴィオレッタ」と絶賛される。以降、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ロンドンの王立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、パリ国立オペラ、ベルリン・ドイツ・オペラなど世界各地の一流歌劇場に招かれ、「椿姫」ヴィオレッタ、「リゴレット」ジルダ、「仮面舞踏会」オスカル、「セヴィリアの理髪師」ロジーナ、「愛の妙薬」アディーナ、「ランメルモールのルチア」タイトルロール、「魔笛」夜の女王などを歌い、コロラトゥーラおよびベルカントのレパートリーで聴衆を魅了してきた。長年のキャリアを通じルチアーノ・パヴァロッティ、ホセ・カレーラス、プラシド・ドミンゴ、レオ・ヌッチ、レナート・ブルゾン、アグネス・バルツァといった歌手たち、リッカルド・ムーティ、マルチェッロ・ヴィオッティ、ファビオ・ルイーゼといった指揮者たちと共演してきた。特にルチアーノ・パヴァロッティは「仮面舞踏会」のオスカル役について「声楽家としての能力的に完璧なオスカルだった。この賢い小姓の役を華奢ながら十分な存在感をもって、望み得る最高に輝かしい声で歌ってくれた」と絶賛している。日本には1999年、藤原歌劇団「椿姫」ヴィオレッタでデビュー。新国立劇場では「仮面舞踏会」、「リゴレット」、「ランメルモールのルチア」、「軍人たち」に出演、近年はマスタークラスでもたびたび来日している。



ムーティが、パヴァロッティが絶賛した歌姫 ヴィクトリア・ルキアネッツ。12年ぶりの日本公演は本邦初となるシューベルトの歌曲集「冬の旅」

1999年、ムーティに絶賛された「椿姫」ヴィオレッタで鮮烈な日本デビューを飾り、新国立劇場にもたびたび客演したヴィクトリア・ルキアネッツ。12年ぶりとなる日本での公演は近年新たに重要なレパートリーとして取り組んでいるシューベルトの歌曲集「冬の旅」を、愛する日本の聴衆に届けたいという本人の熱い希望によって実現する。彼女のリート歌手としての新しい一面を垣間見る貴重な機会となる。



ピアノ：比留間千里

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。同大学院ピアノ専攻修了。福井直秋奨学生。在学中より演奏活動を開始。国内外の声楽家から厚い信頼を得ており、現在コンサート、リサイタル、CD録音、TVで活躍している。第11回チェコ音楽コンクール声楽部門最優秀伴奏者賞受賞。第7回オペレッタコンクール審査員特別奨励賞。第1回バーゼル国際コンクール伴奏者賞受賞。2023年NHKBSプレミアム「クラシック倶楽部」"ウクライナの風"に出演、好評を得る。また、声楽曲のアレンジ、コンサートの企画を手掛ける等、活動の幅を精力的に広げており、2025年3月には、伊豆大島にて開催された国際椿サミットの催しとして、台本、演出、伴奏を手掛けた「大島椿姫物語」が国際椿協会公認作品に認定された。